

萬世大路

東北中央自動車道
(福島～米沢北) 通信

第19号 平成23年11月 発行

工事紹介 ぱーと15

⑨米沢大橋下部工工事

請負者：(株)後藤組

工期：H23年8月～H24年2月

JR や最上川などをまたぐ橋の土台（橋台・橋脚全12基）のうち3基の橋脚を造る工事です。

(仮称)米沢大橋は、JR奥羽本線の線路・四ヶ村堰・羽黒川・最上川・サイクリングロードをまたぎ、完成すると長さが447mの橋になります！この工事では、下図オレンジ部分の橋脚3基を施工します。



←11月末
現場の様子
橋の基礎となる
杭を施工して
います！
【場所打杭】と
いう作業です。
(第3号参照)



◎A (アバット) ...

橋の上部工を支える橋台のことです。

◎P (ピアー) ...

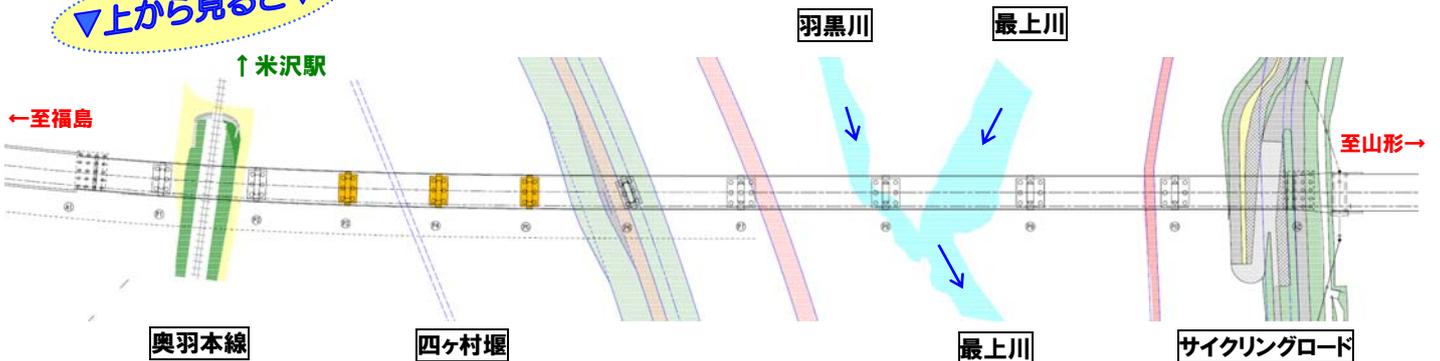
橋脚・脚柱のことです。延長の短い橋梁の場合はアバットだけということが多いが、長大橋ではピア・アバットが両方あることが一般的です。

▼横から見ると▼

← 長さ447m →



▼上から見ると▼



いせきはつくつちょうさ

遺跡発掘調査

いなりやまたてあと
米沢拡幅事業に伴い、今年度は稲荷山館跡（米沢市万世町地内）で遺跡の発掘調査が行われました。

なぜ発掘調査をするの？

- ① 私たちの祖先の暮らしを知るため
- ② やむを得ず保存できない遺跡を調べて記録に残すため



遺跡は、昔の人々がどんな生活をしていたかななどを教えてくれます。道路や建物の工事などで掘削してしまうと遺跡が壊れてしまうことがあるので、遺跡や遺構が壊れてしまう前に写真や図面に記録し保存する必要があります。



発掘調査完了の様子

土塁とは敵や動物の侵入を防ぐため、古代から中世にわたって城や豪族の住居、集落などの周囲に築かれた連続した土盛りのことです。この土塁の高さは約1.8mありました！

いなりやまたてあと ☆稲荷山館跡

稲荷山館跡は万世地区に所在する中世の城館跡です。鎌倉時代から置賜地方を支配していた長井氏の家臣熊坂利衛門の築城とされ、伊達氏の置賜進入に最後まで抵抗したとされています。今回の調査では、土塁や柱穴・井戸跡などが検出されました。



出土した遺物（陶磁器など）



土塁断面

除雪車出動式が行われました



11月1日（火）米沢国道維持出張所構内で、除雪車出動式が行われました。当出張所では、国道13号（米沢市～南陽市）及び国道113号（小国町～南陽市）の100.7kmの除雪を行います。管内5箇所の除雪ステーションに46台の除雪車を配備し、24時間体制で冬の安全な交通確保を目指します！

11月中旬には米沢にも初雪が降りましたが、皆さん、冬タイヤの装着はお済ですか？
冬道はスピードを控えめに
車間距離を十分にとり
安全運転を心がけましょう！



ご意見・お問い合わせ先
国土交通省 東北地方整備局
山形河川国道事務所 米沢監督官詰所

〒992-0011 山形県米沢市中田町 260-2
TEL：0238-37-5570 FAX：0238-37-5575

